

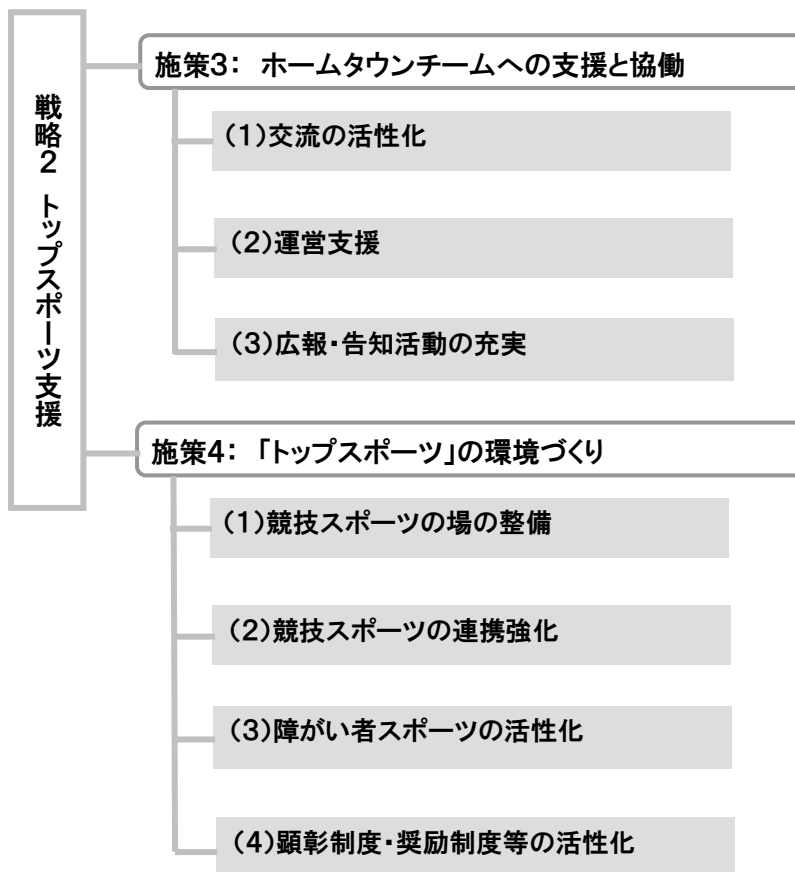
戦略2 トップスポーツ支援【19事業】

町田市は、サッカーの「FC町田ゼルビア」、フットサルの「ASVペスカドーラ町田」、ラグビーの「キャノンイーグルス」の3つのホームタウンチームが活躍しているほか、多くのトップアスリートを輩出しています。

また、2020年には東京でのオリンピック・パラリンピックの開催が決定し、町田市においてもスポーツへの関心や興味が高まっており、キャンプ地招致に向けた気運も高まっています。

町田市では、こうしたトップスポーツの活躍により、賑わいのあるまちを目指すとともに、トップスポーツに市民が触れ合うことで、感動やあこがれが生まれ、また、スポーツをはじめめるきっかけや動機づけになるものと考えています。

「戦略2 トップスポーツ支援」では、トップスポーツを活性化し、競技スポーツを観る人のスポーツ人口の拡大をはじめ、まちの魅力向上や活性化のために、ホームタウンチームの支援と協働を推進します。また、トップスポーツの環境づくりとして、トップスポーツの場の整備やアスリートと市民の一層の交流の促進を図ります。具体的な事業としては、ホームタウンチームと連携した社会貢献活動やイベントへの参加拡充、スポーツを通じたシティセールスの推進、オリンピックキャンプ地招致などに取り組みます。



施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

No	3-1				
推進施策	ホームタウンチームの社会貢献活動やイベントへの参加拡充				
事業名	ホームタウン活動マッチング事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、地域や市民に町田市のシンボルとして認知され、地域内の一体感を醸成する際のシンボルとなることが挙げられる。そのためには、ホームタウンチームが地域や市民の日常活動とより多くの接点を持ち、より身近な存在として浸透していく必要がある。このため、地域祭事や地域貢献活動、市主催事業等とホームタウンチームの活動をマッチングし、幅広い分野で地域や市民との接点を増やす。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域祭事や地域貢献活動に関わる自治会町内会などの地域団体に対して、ホームタウンチームに関する情報を発信し、連携・交流の機会のマッチングを行う。 ・市主催事業などについて、庁内で横断的な連絡・調整を図り、ホームタウンチームが地域に浸透する機会を創出する。 ・ホームタウンチームのホームタウン活動について、広報の支援を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	地域祭事 地域貢献活動 市主催事業 等
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 地域団体		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	70回
	地域祭事、地域貢献活動、市主催事業等への ホームタウンチームの参加回数			目標水準 (2018年度)	140回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	80回	90回	100回	120回	140回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(1) 交流の活性化

No	3-2				
推進施策	市内小・中学校との連携促進				
事業名	ホームタウンチームスポーツ普及啓発事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、通常手の届かない存在であるトップスポーツを「地元のチーム」として市民がより身近に感じるとともに、その強みを生かして「する」機会を創出することが挙げられる。トップスポーツ選手と一緒にスポーツを体験できる機会を創出することで、普段スポーツと接点のない市民にも広くスポーツを普及する。また、既存の競技団体と交流を図り、競技力向上に努める。</p> <p><取り組み内容> ・市内の保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等を対象に、ホームタウンチームの主催する出前スポーツ教室とマッチング等を行い、支援する。 ・出前スポーツ教室の内容を拡充し、単なる競技だけでなく、スポーツ栄養学や職場体験、職業講座などの新たな取り組みも支援していく。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	保育園・幼稚園、小・中学校、高校、地域団体等	
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 保育園・幼稚園 小・中学校、高校 地域団体等	対象者	児童・生徒 地域団体等	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	54回	
	ホームタウンチームによる 出前スポーツ教室等の延べ実施回数		目標水準 (2018年度)	150回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	60回	80回	100回	120回	150回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-3				
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム開催周知連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームのホームゲームについて、広く周知活動を行うことで、ホームゲーム等を観戦する方を増やし、スポーツと関わりを持つ機会を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームタウンチームと町内会・自治会や商店街、学校等をマッチングし、ホームゲームの開催周知や観戦招待などの取り組みを支援する。 ホームタウンチームや、その運営を支えるボランティアが行う街頭周知活動等の取り組みについて、周知機会の提供やマッチング等により支援する。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 地域団体・関連団体 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	69,503人
	ホームタウンチームのホームゲームの年間観戦者数			目標水準 (2018年度)	17万人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	8万人	10万人	12万人	14万人	17万人

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-4				
推進施策	スポーツイベントの集客増に向けた連携強化				
事業名	ホームゲーム観戦・参加環境充実化支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームのホームゲームについて、観戦・参加環境を充実させる取り組みを支援することで、より多くの方にスポーツと関わる機会を創出する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームゲームの運営体制を支えるボランティア活動の支援をするとともに、まちだサポーターズとも連携した取り組みを行う。 ホームゲームの会場への交通アクセス等に関する取り組みを支援し、その向上に努める。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	ホームゲーム等
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 公共交通関連企業 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	1,740人
	ホームタウンチームのホームゲームにおけるボランティアスタッフの年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	2,500人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2,100人	2,200人	2,300人	2,400人	2,500人

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-5				
推進施策	試合会場・練習会場の優先確保				
事業名	ホームタウンチーム施設利用支援事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <p>ホームタウンチームがホームゲームや練習等でスポーツ施設を利用する際に、自前の練習施設を保有する一部のホームタウンチームを除き、その利用枠確保や利用環境に様々な課題を残している。こうした課題について、一般利用とのバランスに配慮しながらその負担を軽減し、ホームタウンチームの経営・練習環境の向上を図る。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の利用時間枠の見直し等により、全体の利用枠を拡大し、ホームタウンチームの利用枠も拡大する。 ・ホームタウンチームの自主的な練習施設確保の取り組みを支援する。 ・ホームタウンチームがスポーツ施設を利用する際の施設利用料等の負担を軽減させる。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 指定管理者 民間企業 等	対象者	ホームタウンチーム	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	事業の実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	検討	→ 実施			→

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(2) 運営支援

No	3-6				
推進施策	サポーターの拡大				
事業名	ホームタウンチーム相互連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 町田市には、異なる競技種目で活躍する3つのホームタウンチームが存在する。そこで、それぞれの強みを生かした連携を一層強めることで、より広い市民層へ認知を広げ、相乗効果によるサポーターの拡大に繋げる。</p> <p><取り組み内容> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームで連絡・調整を図る「連絡会（仮称）」を開催し、相互に連携できる環境を整える。 ・市内に拠点を置く3つのホームタウンチームの連携した取り組みを支援する。 </p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内
	連携先	市役所関連部署 指定管理者 ホームタウンチーム 地域団体・関連団体 等		対象者	市民、ファン、サポーター
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	3つのホームタウンチーム合同による 連携活動の取り組み数			目標水準 (2018年度)	3回
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	連絡会の開催	1回	2回	3回	3回

施策3：ホームタウンチームへの支援と協働

(3) 広報・告知活動の充実

No	3-7				
推進施策	【重点施策】スポーツを通じたシティセールスの推進				
事業名	ホームスタジアムホスピタリティ向上事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> ホームタウンチームに期待される役割のひとつとして、観戦に訪れるアウェーサポーターに対して町田市の魅力を発信していくことが挙げられる。ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、「ホーム」の雰囲気醸成し、様々な形でホスピタリティを向上させることで、より多くの方々に町田市の魅力を発信する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ホームスタジアム及びその周辺、交通経路において、ホームタウンチームのチームカラーを生かした広報物の設置等を行うとともに、町田市におけるスポーツの盛り上がりや魅力を発信する。 ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおいて、町田市の魅力を発信するコンテンツを充実させる。 				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	ホームスタジアム及びその周辺、交通経路
	連携先	ホームタウンチーム 市役所関連部署 町田市観光コンベンション協会 地域団体 民間企業 等		対象者	アウェーサポーターを中心とした市内外の方
事業目標	指標			現状 (2013年度)	JFL 全試合実施
	ホームゲーム開催時のホームスタジアムにおける町田市の魅力発信活動			目標水準 (2018年度)	他リーグへ拡充 コンテンツ充実
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	事業内容設計	実施			→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-1				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	2019年ラグビーワールドカップ及び 2020年東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「観る」「支える」環境を向上させる。 ・「おもてなし」の心で外国から来訪する選手やスタッフを迎えることで、市民のボランティア意識を高める。 ・合宿を通じて、町田市を全国、世界に対してアピールし、来街者を増加させる。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加国や関係各所への招致活動を行う。 ・選手やスタッフの宿泊場所を確保するため、関係団体と調整を行う。 ・市を挙げて「スポーツのまち・町田」をアピールする、機運の醸成を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課 町田市オリンピック等国際大会 関連事業推進本部	取り組みの場	市内全域	
	連携先	東京都 公園緑地課 産業観光課 広報課	対象者	市民 日本ラグビーフット ボール協会 JOC	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致 ラグビーワールドカップ2019キャンプ地招致		目標水準 (2018年度)	招致	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	招致活動				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-2				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	全国大会等誘致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「観る」「支える」環境を向上させる。 ・オリンピックキャンプ地招致に向けて機運の醸成を図る。 ・観客席を持つスポーツ施設の有効活用を図る。 <p><取り組み内容></p> <p>各種の全国大会等の公式試合を町田市で開催してもらえるように大会主催者やクラブチームに対して誘致活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン日本リーグ ・NBL（ナショナルバスケットボールリーグ（日本）） ・bjリーグ（日本プロバスケットボールリーグ） ・全国高校サッカー選手権大会 等 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課	取り組みの場	総合体育館 陸上競技場	
	連携先	公園緑地課 町田市体育協会 指定管理者	対象者	日本バドミントン協会 日本バスケットボール協会 （株）日本プロバスケットボールリーグ 日本サッカー協会 等	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	大会開催		目標水準 (2018年度)	大会開催	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動 大会開催				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-3				
推進施策	【重点施策】オリンピックキャンプ地招致				
事業名	ジャパンラグビートップリーグ大会誘致事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年をはじめとする市民の方々に、トップレベルのスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツを「する」「みる」「支える」環境を向上させる。 ・オリンピックキャンプ地招致に向けて機運の醸成を図る。 ・観客席を持つスポーツ施設の有効活用を図る。 ・ホームタウンチームであるキャノンイーグルスを市民により身近に感じてもらう。 <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビートップリーグで活躍するキャノンイーグルスの試合を陸上競技場で開催してもらえるようにキャノンイーグルス及び日本ラグビーフットボール協会に対して誘致活動を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課 企画政策課		取り組みの場	陸上競技場
	連携先	公園緑地課 町田市体育協会 指定管理者		対象者	日本ラグビーフットボール協会
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	大会開催			目標水準 (2018年度)	大会開催
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	誘致活動 大会開催				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(1) 競技スポーツの場の整備

No	4-4				
推進施策	スポーツ施設の有効活用策の検討				
事業名	競技スポーツの場の整備				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 競技スポーツの大会が開催できるように施設整備を行う。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館の得点表示板の更新を行う。 ・総合体育館に大型バス乗降場を整備する。 ・室内プール（50mプール）のコースロープを一新し、公認を受ける。 ・室内プールの電光表示システムを更新する。 ・総合体育館に大型映像装置を整備する。 ・陸上競技場に大型映像装置の整備と観客席の増設を行う。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	公園緑地課 営繕課	対象者	スポーツ施設利用者	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	競技スポーツの場の整備		目標水準 (2018年度)	整備	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	総合体育館得点表示板更新 室内プール50mコースロープ購入・公認手続き	総合体育館大型バス乗降場整備の検討	総合体育館大型バス乗降場整備設計、総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置検討、陸上競技場観客席増設検討、室内プール電光表示システム更新	総合体育館大型バス乗降場整備工事 総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置設計 陸上競技場観客席増設設計	総合体育館大型バス乗降場整備工事 総合体育館・陸上競技場大型映像装置設置工事 陸上競技場観客席増設工事

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

No	4-5				
推進施策	スポーツ団体との情報の共有化				
事業名	体育協会等との情報共有の強化				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 体育協会及び各競技団体との情報共有を図り、施設の管理運営や、市民大会開催に活かす。</p> <p><取り組み内容> ・各施設指定管理者及び体育協会と連携し、次年度の施設利用優先受付業務を行う。 ・体育協会との打合せを定期的に行い、加盟団体からの要望・意見を収集する。加盟団体からの要望は、公園緑地課や指定管理者と協議の上で対応を決定する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	町田市体育協会 公園緑地課 指定管理者	対象者	体育協会 (各競技団体)	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	実施	
	体育協会との業務連携		目標水準 (2018年度)	強化	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	優先受付取扱基準の見直しの検討 各団体からの要望への対応検討・実施	施設利用優先受付業務の実施・改善			→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

再掲

No	4-6				
推進施策	ボランティアスタッフが活躍できる仕組みづくり [再掲]				
事業名	スポーツボランティア活性化事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツを「支える」という概念をより広く周知し、スポーツと密接に関わる市民の数を増加させる。</p> <p><取り組み内容> スポーツ祭東京2013でボランティアスタッフとして活躍した「まちだサポーターズ」を引き続き、組織・運営し、研修や市内外のスポーツイベントへの参加を通じて行政とともにスポーツを「支える」意識を高める。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課		取り組みの場	市内外各種スポーツイベント
	連携先	町内会自治会連合会 市内大学 市内高等学校 小・中学校 ホームタウンチーム 教育委員会 市民協働推進課		対象者	市民
事業目標	指標			現状 (2013年度)	—
	「まちだサポーターズ」 年間延べ活動人数			目標水準 (2018年度)	1,200人
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	600人	750人	900人	1,050人	1,200人

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(2) 競技スポーツの連携強化

No	4-7	再掲			
推進施策	大学との協定の締結 [再掲]				
事業名	スポーツに関わる人材育成連携事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ行政に対する大学生の知見を広めることで、次代のスポーツ行政を担う人材を育成する。 ・市の主催イベント等に大学生を積極的に活用することで、町田市全体としての活気を創出する。 <p><取り組み内容></p> <p>大学のゼミや講義と連携した、下記各種取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブ等で開催されるスポーツ教室において、指導を通じた地域貢献を行う。 ・市内外スポーツイベントへボランティアとして積極的に参加できるシステムを構築する。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市内大学 市内外各種スポーツイベント 地域スポーツクラブ	
	連携先	市内大学 地域スポーツクラブ 広報課	対象者	大学生	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	市の事業と連携する大学数		目標水準 (2018年度)	3大学	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	制度設計・調整	→	新規1大学 (計1大学)	新規1大学 (計2大学)	新規1大学 (計3大学)

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(3) 障がい者スポーツの活性化

No	4-8				
推進施策	障がい者の競技スポーツ大会への場の提供				
事業名	障がい者の競技スポーツ大会誘致				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 障がい者スポーツ普及啓発のためには、まず、一般的に触れる機会の少ない障がい者スポーツを体験してもらい、理解のきっかけを作ることが必要である。障がい者アスリートが市内で競技スポーツに取り組みやすい環境をつくる。</p> <p><取り組み内容> 障がい者スポーツの中でも、比較的認知度の高い車椅子バスケットボールの大会など障がい者の競技スポーツ大会を積極的に誘致し、継続的な開催を目指す。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	障がい福祉課 体育協会 指定管理者	対象者	障がい者競技スポーツ団体 市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	1大会	
	障がい者の競技スポーツ 大会開催数		目標水準 (2018年度)	2大会	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	2大会				

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-9				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	トップアスリートと市民のつながり創出事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 市内外で活躍する町田市ゆかりのトップアスリートと市民との、直接・間接の交流機会を増やすことで、トップアスリートたちをさらに広く周知・支援し、青少年を中心とする層にスポーツが持つ夢や希望をより多く実感してもらう。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スポーツアワードまちだ」受賞者を中心とするトップアスリートの市内スポーツイベントへの積極的な出演を促進する。 ・小学生、働く世代、高齢者等、世代ごとのミニ「スポーツアワードまちだ」を開催する。 ・ホームページ、SNS、紙媒体などの積極的活用や新聞、テレビなどのマス媒体への積極的なPRを行うことで、トップアスリートとの交流機会の周知を強化し、市民の参加を促進する。 				
	実施主体	スポーツ振興課 Sports まちだホームタウン協議会	取り組みの場	市内各種スポーツイベント	
	連携先	指定管理者 産業観光課 広報課	対象者	トップアスリート 市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	年1回	
	トップアスリートとの交流機会の回数		目標水準 (2018年度)	年3回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	年1回	→	年2回	→	年3回

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-10				
推進施策	【重点施策】 トップアスリートとの交流の活性化				
事業名	指定管理者によるトップアスリートとの交流イベント実施事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> 指定管理者の自主事業（イベント）は、スポーツ施設運営において、多くの参加者を集める重要な事業となっている。この機会を利用し、トップアスリートがイベントに関わることで、市民との交流の機会を創出することを目的とする。</p> <p><取り組み内容> 競技団体やホームタウンチームと連携し、トップアスリートが出演、参加するイベントを実施する。</p>				
	実施主体	指定管理者 町田市体育協会	取り組みの場	スポーツ施設	
	連携先	スポーツ振興課 競技団体 ホームタウンチーム	対象者	市民	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	—	
	イベントの実施		目標水準 (2018年度)	実施	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	イベント実施				→

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-11				
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	表敬訪問事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場予定、または出場した市民の市長表敬訪問の受け入れを行い、激励・顕彰することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、そのスポーツを広く市民に普及する。</p> <p><取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なスポーツをする市民が広く表敬訪問を知り、訪問できるよう、今後の受け入れ方法・周知方法を検討する。 ・出場前であれば、表敬訪問により大会に向けて士気を高めることができ、また、その競技や大会の注目度を上げ広く市民から応援を得ることができるような表敬訪問のあり方を検討する。 ・出場後であれば、功績を称え今後の意欲につながるような表敬訪問のあり方を検討する。 				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場	市役所	
	連携先		対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場予定または出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	25回	
	表敬訪問実施数		目標水準 (2018年度)	35回	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	25回	→	30回	→	35回

施策4：「トップスポーツ」の環境づくり

(4) 顕彰制度・奨励制度等の活性化

No	4-12				
推進施策	顕彰制度、奨励制度の充実				
事業名	全国大会等出場者祝金支給事業				
取り組みの概要	<p><目的・狙い> スポーツの全国大会、国際大会に出場した市民に対し祝金を支給することで、スポーツをする市民の意欲を高めるとともに、その活動への支援を行う。</p> <p><取り組み内容> ・祝金支給要綱にもとづき、市民への祝金を支給する。 ・スポーツの多様化にともない、様々なスポーツの大会に出場する市民に広く支給できるよう、支給要綱を見直す。 ・より制度を広く市民に知ってもらうために、更なる周知方法を検討する。</p>				
	実施主体	スポーツ振興課	取り組みの場		
	連携先		対象者	スポーツの全国大会・国際大会に出場した個人または団体	
事業目標	指標		現状 (2013年度)	85件	
	祝金支給件数		目標水準 (2018年度)	150件	
実施計画	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
	85件	120件	130件	140件	150件